

運用報告書(全体版)

ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2024年11月15日から2045年11月14日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	主として、以下の投資信託証券に投資します。 ・ケイマン籍外国投資信託 ウエリントン・クレジット・トータル・リターン(ケイマン) ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券(以下「トータル・リターン・ファンド」といいます。) ・D IAMマネーマザーファンド受益証券
運用方法	①米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など ^(*) を実質的な主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 (*) 実質的に投資する債券種別等は、市況動向、投資機会等が変化することにより、大幅に変わる可能性があります。 ・各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、トータル・リターン・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。 ②トータル・リターン・ファンドの運用は、ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピーが行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則として毎年2月、5月、8月、11月の各14日(休業日の場合は翌営業日))に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター: 0120-104-694

受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで

お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

第3期 <決算日 2025年8月14日>
第4期 <決算日 2025年11月14日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド(年4回決算型)(為替ヘッジなし)」は、2025年11月14日に第4期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし)

■設定以来の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額					投受組	資益入	信証比	託券率	純 総 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謄	落 中 率					
第1作成期	(設 定 日) 2024年11月15日	円 10,000		円 -		% -			% -		百万円 2,934
	1期(2025年2月14日)	9,953		0		△0.5		98.8		11,496	
	2期(2025年5月14日)	9,712		0		△2.4		98.9		12,895	
第2作成期	3期(2025年8月14日)	9,925		0		2.2		98.9		13,745	
	4期(2025年11月14日)	10,452		30		5.6		99.4		14,767	

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ) 。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

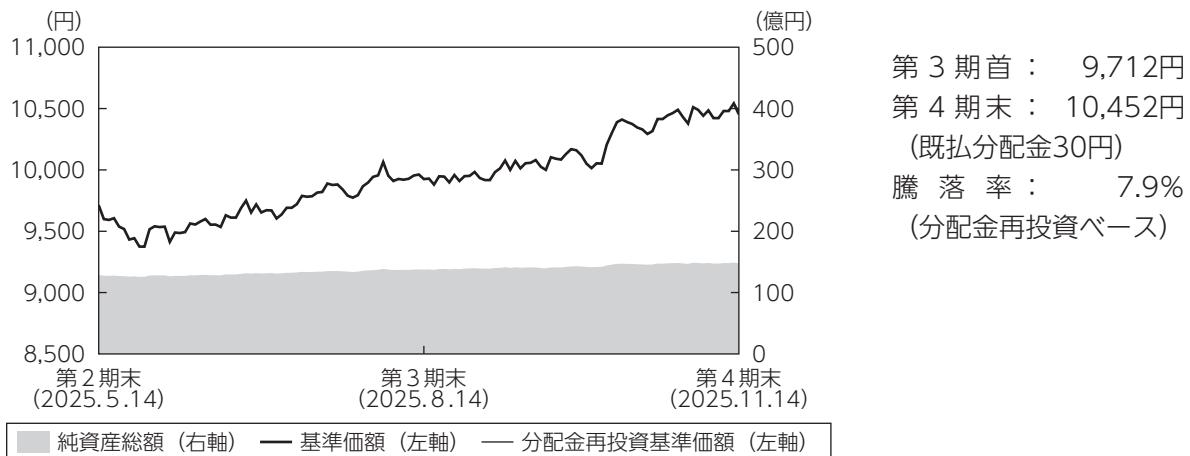
決算期	年 月 日	基 準 価 額	投受組		資益入	信証比	託券率
			騰	落			
第3期	(期 首) 2025 年 5 月 14 日	円 9,712		% —		% 98.9	
	5 月 末	9,534		△1.8		98.9	
	6 月 末	9,671		△0.4		98.9	
	7 月 末	9,955		2.5		98.9	
	(期 末) 2025 年 8 月 14 日	9,925		2.2		98.9	
第4期	(期 首) 2025 年 8 月 14 日	9,925		—		98.9	
	8 月 末	9,934		0.1		98.9	
	9 月 末	10,119		2.0		98.9	
	10 月 末	10,511		5.9		99.1	
	(期 末) 2025 年 11 月 14 日	10,482		5.6		99.4	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第3期～第4期の運用経過（2025年5月15日から2025年11月14日まで）

基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ケイマン籍外国投資信託 ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券（以下、「トータル・リターン・ファンド」ということがあります。）を通じて主として米ドル建ての債券に実質的に投資を行った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。金利低下や円安米ドル高が主な上昇要因となりました。

◆組入ファンドの当分成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券	8.5%
DIAMマネーマザーファンド	0.2%

(注) ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

米国国債利回りは低下（価格は上昇）しました。作成期を通じて利回りは低下しましたが、特に2025年6月には、複数のF R B（米連邦準備理事会）高官が利下げに前向きな発言を行ったことで、市場の利下げ期待が高まりました。さらに、8月の雇用統計が軟調な結果となったことを受け、F R Bの利下げ観測が一層強まり、これらの要因が利回り低下の背景となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは0.3%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

米ドルは対円で上昇しました。作成期初から2025年5月下旬にかけては一時的に下落する場面がありましたが、その後は上昇基調に転じました。特に、10月上旬には日本の自民党総裁選で高市氏が勝利したことを受け、財政拡張への期待が高まる一方、日銀の利上げ観測が後退しました。米国ではF R B議長がタカ派寄りの発言を行い、12月の利下げ期待が後退したことも、米ドルの上昇要因となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

トータル・リターン・ファンドの組入比率は原則として高位に維持し、D I A Mマネーマザーファンドの組入れを継続しました。

●ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券

当ファンドは米ドル建ての債券を主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。作成期中、流動性を確保する目的で国債やキャッシュを多く保有しました。2025年10月末時点では国債とキャッシュを合わせて7割弱保有しました。格付別構成比率ではA A格に加え、B B B格を中心としたポートフォリオとしました。

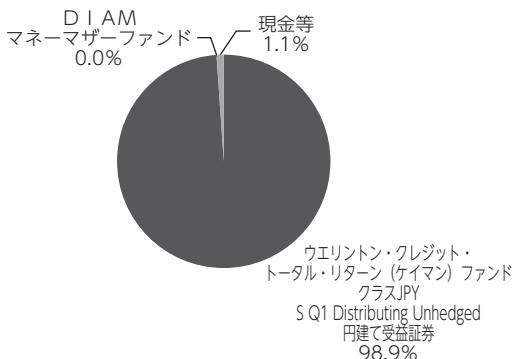
●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

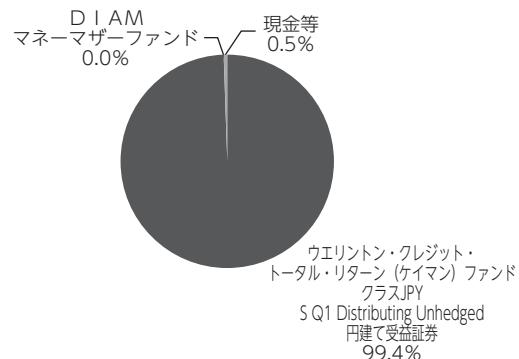
ポートフォリオ構成

※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第3期	第4期
	2025年5月15日 ～2025年8月14日	2025年8月15日 ～2025年11月14日
当期分配金（税引前）	－円	30円
対基準価額比率	－%	0.29%
当期の収益	－円	30円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	186円	519円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

債券市場および資金動向などを考慮しながら、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、トータル・リターン・ファンドを高位に組入れる方針です。また、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、DIA Mネーマザーファンドの組入れを継続します。

●ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券

マクロ経済に関しては引き続き不透明であり、地政学リスクや財政赤字が逆風となる一方で、AIの発展やインフレ圧力の緩和は債券市場にとって追い風となる可能性があると考えています。利下げの確率が高まっており、米国債の利回り水準が魅力的であることから、デュレーション*を過去対比長めにしています。社債については、更なる投資機会を待つために流動性を確保しつつ、高クオリティかつ魅力的な社債には投資を行う方針です。

*金利変動に対する債券価格の変動性。

●DIA Mネーマザーファンド

日銀は2025年10月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期～第4期		項目の概要	
	(2025年5月15日～2025年11月14日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	48円 (18) (29) (2)	0.488% (0.177) (0.294) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,941円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用	
合計	49	0.490		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

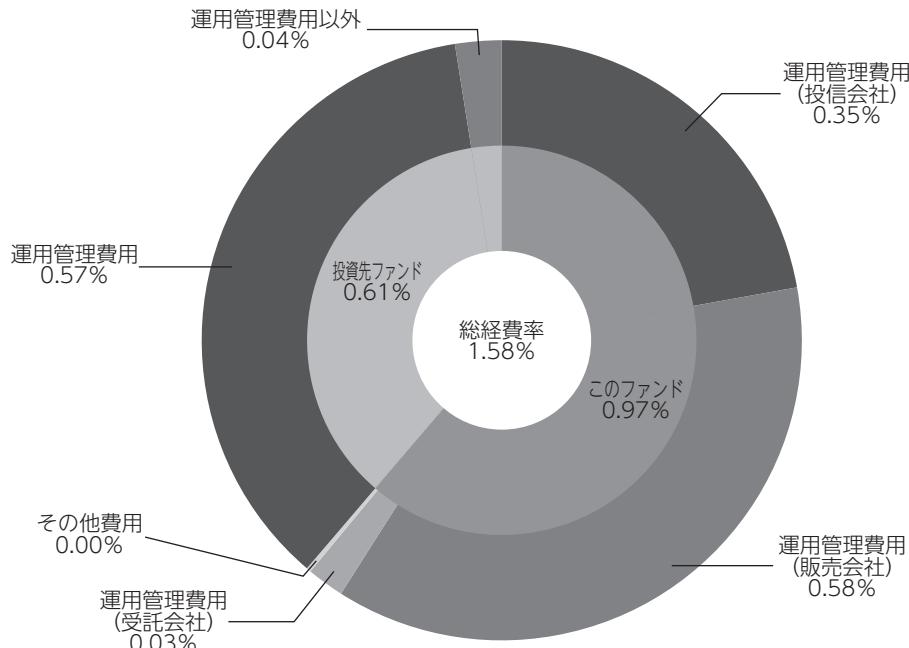
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当社成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



費用項目	比率
総経費率 (1.58%)	1.58%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2025年5月15日から2025年11月14日まで)

投資信託受益証券

	第3期～第4期				
	買付		売付		
	□ 数	金額	□ 数	金額	
外国 邦 貨 建	千口 119.499103	千円 1,153,000	千口 8.063703	千円 80,000	

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2025年5月15日から2025年11月14日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2025年5月15日から2025年11月14日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第1作成期末		第2作成期末		
	□ 数	千円	□ 数	千円	比率
ウェリントン・クレジット・トータル・リターン (ケイマン) ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券	1,328.08167	1,439.51707	1,439.51707	14,685,953	99.4
合計	1,328.08167	1,439.51707	1,439.51707	14,685,953	99.4

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第1作成期末		第2作成期末	
	□ 数	千円	□ 数	千円
DIAMマネーマザーファンド	2,884	千円 2,884	千円 2,884	千円 2,911

■投資信託財産の構成

2025年11月14日現在

項 目	第2作成期末	
	評価額	比率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 14,685,953	% 98.9
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	2,911	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	156,336	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	14,845,201	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年8月14日)、(2025年11月14日)現在

項 目	第3期末	第4期末
(A) 資 産	13,777,528,701円	14,845,201,321円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	186,801,602	156,336,925
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	13,587,819,888	14,685,953,148
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド(評価額)	2,907,211	2,911,248
(B) 負 債	32,225,155	77,954,807
未 払 収 益 分 配 金	—	42,387,209
未 払 解 約 金	—	500,000
未 払 信 託 報 酬	32,095,365	34,926,352
そ の 他 未 払 費 用	129,790	141,246
(C) 純資産総額(A-B)	13,745,303,546	14,767,246,514
元 本	13,849,263,165	14,129,069,980
次 期 縰 越 損 益 金	△103,959,619	638,176,534
(D) 受 益 権 総 口 数	13,849,263,165口	14,129,069,980口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,925円	10,452円

(注) 第2期末における元本額は13,277,330,820円、当作成期間(第3期～第4期)中における追加設定元本額は1,144,057,631円、同解約元本額は292,318,471円です。

■損益の状況

[自 2025年5月15日] [自 2025年8月15日]
[至 2025年8月14日] [至 2025年11月14日]

項 目	第3期	第4期
(A) 配 当 等 収 益	138,060,322円	148,878,530円
受 取 配 当 金	137,866,226	148,682,448
受 取 利 息	194,096	196,082
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	189,218,702	667,569,587
売 買 益	189,075,180	670,141,810
売 買 損	143,522	△2,572,223
(C) 信 託 報 酬 等	△32,225,155	△35,067,598
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	295,053,869	781,380,519
(E) 前 期 縰 越 損 益 金	△333,596,112	△38,130,182
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△65,417,376	△62,686,594
(配 当 等 相 当 額)	(25,222,461)	(33,370,939)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△90,639,837)	(△96,057,533)
(G) 合 計(D+E+F)	△103,959,619	680,563,743
(H) 収 益 分 配 金	—	△42,387,209
次 期 縰 越 損 益 金(G+H)	△103,959,619	638,176,534
追 加 信 託 差 損 益 金	△65,417,376	△62,686,594
(配 当 等 相 当 額)	(25,222,463)	(33,370,942)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△90,639,839)	(△96,057,536)
分 配 準 備 積 立 金	233,096,061	700,863,128
縦 越 損 益 金	△271,638,304	—

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを持みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第3期	第4期
(a) 経費控除後の配当等収益	124,467,442円	142,485,839円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	370,160,501
(c) 収 益 調 整 金	25,222,463	33,370,942
(d) 分 配 準 備 積 立 金	108,628,619	230,603,997
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	258,318,524	776,621,279
(f) 1万口当たり当期分配対象額	186.52	549.66
(g) 分 配 金	0	42,387,209
(h) 1万口当たり分配金	0	30

■分配金のお知らせ

決算期	第3期	第4期
1万口当たり分配金	－円	30円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド

＜クラスJPY S Q1 Distributing Hedged＞
＜クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged＞

当ファンドは「ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍外国投資信託／円建受益証券
主 要 投 資 対 象	米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など ^(*) を主要投資対象とします。 ^(*) ファンドが投資する債券種別等は、市況動向、投資機会等が変化することにより、大幅に変わることがあります。
投 資 態 度	<p>①米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など^(*)を主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することにてトータル・リターンの最大化を図ります。 ^(*) 投資対象には以下が含まれますがこれに限定されません。 世界（日本および新興国を含む）の公社債（自治体および政府機関を含む）、国際機関債、優先証券、劣後債、C o C o 債および短期投資商品等</p> <p>②価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的に限定してスワップ取引、債券、通貨、金利に関する先渡取引等を活用します。</p> <p>③ポートフォリオの平均デュレーションは通常3～6年とすることを基本とします。</p> <p>④ポートフォリオの平均格付は、通常B B B一格以上とすることを基本とします。ただし、特定の市場環境の結果、投資適格を下回る場合があります。</p> <p>⑤原則として、投資適格未満の格付を有する証券（無格付債券の場合には、同等の信用度を有すると投資顧問会社が判断する場合があります。）の投資割合は、純資産総額の50%を上限とします。</p> <p>⑥原則として、無格付債券への投資割合は、純資産総額の10%を上限とします。</p> <p>⑦クラスJPY S Q1 Distributing Hedgedでは、原則として米ドルで運用を行い、非米ドル通貨を取得した場合には速やかに米ドルに換金します。原則として対円での為替ヘッジを行います。クラスJPY S Q1 Distributing Unhedgedでは、原則として米ドルで運用を行い、非米ドル通貨を取得した場合には速やかに米ドルに換金します。</p> <p>⑧原則として、新興国市場の発行体が発行する証券への投資割合は、純資産総額の50%を上限とします。</p> <p>※上記は、投資顧問会社が投資目的の達成のために必要と判断した場合には、変更される可能性があります。</p>
主 な 投 資 制 限	<p>①デリバティブ取引は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。</p> <p>②外国為替予約取引は、為替相場の変動により生じるリスクを減じる目的以外には利用しません。</p> <p>③原則として、純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。</p> <p>④有価証券の空売りは行いません。</p> <p>⑤原則として、国債・地方債・政府保証債および国際機関債等を除いて、同一の発行体が発行する証券への投資は、純資産総額の10%以内とします。</p>
管 理 会 社	ウェリントン・マネジメント・ファンズ・エルエルシー
投 資 顧 問 会 社	ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー
受 託 銀 行	ステート・ストリート・ケイマン・トラスト・カンパニー・リミテッド
保管銀行/為替管理会社	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー

ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2024年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2024年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

財政状態計算書
2024年12月31日現在

2024年12月31日現在*
単位：米ドル

資産

流動資産

純損益を通じて公正価値で保有する金融資産：

譲渡可能有価証券、公正価値	150,512,451
デリバティブ金融商品	35

現金および現金同等物

2,451,085

受益証券発行未収金

4,753,896

純損益を通じて公正価値で保有する資産からの未収収益

1,520,736

その他の債権

1,014

資産合計

159,239,217

負債

流動負債

デリバティブ金融商品	(1)
------------	-----

未払投資運用報酬

(77,971)

未払事務管理代行報酬

(9,585)

源泉税預り金

(333)

負債合計（償還可能受益証券所有者に帰属する純資産を除く）

(87,890)

償還可能受益証券所有者に帰属する純資産

159,151,327

* ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンドは2024年11月15日に運用を開始した。

受益証券クラス¹

	2024年12月31日現在 純資産総額* 基準価額*、**		
日本円 S ²	1,623,398	10,146.00000	160,000
日本円 S（ヘッジあり） ²	1,589,945	9,937.00000	160,000
日本円 S Q1（分配型） ²	25,005,929,620	10,144.00000	2,465,173,731
日本円 S Q1（ヘッジあり）（分配型） ²	3,080,474	9,937.00000	310,000

¹ 特に断りのない限りすべてのクラスは累積型であり、ヘッジなしである。

² 日本円 Sクラス受益証券、日本円 S（ヘッジあり）クラス受益証券、日本円 S Q1（分配型）クラス受益証券および日本円 S Q1（ヘッジあり）（分配型）クラス受益証券は、2024年11月15日に設定された。

* すべての金額は受益証券クラスの通貨で表示されている。

** 表示目的上、日本円受益証券クラスの基準価額は、小数点以下を切り捨てて表示されている。

包括利益計算書
2024年12月31日に終了した会計期間

2024年12月31日に
終了した会計期間*
単位：米ドル

収益

純損益を通じて公正価値で保有する資産からの収益	698,337
純損益を通じて公正価値で保有する金融資産および金融負債に係る純実現利益／（損失）	60,316
純損益を通じて公正価値で保有する金融資産および金融負債に係る未実現利益／（損失）の純変動額	<u>(1,140,422)</u>

純収益／（損失）合計

(381,769)

運用費用

投資運用報酬	(77,971)
事務管理代行報酬	<u>(12,476)</u>

運用費用合計

(90,447)

運用利益／（損失）

(472,216)

税引前運用利益／（損失）

(472,216)

源泉税回収／（費用）

(333)

税引後運用利益／（損失）

(472,549)

運用による償還可能受益証券所有者に帰属する純資産の増加／（減少）

(472,549)

* ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンドの包括利益計算書は、2024年11月15日（運用開始日）から2024年12月31日までの期間について表示されている。

投資明細表
2024年12月31日現在

	公正価値 (米ドル)	純資産比率 (%)		公正価値 (米ドル)	純資産比率 (%)
2024年12月31日現在					2024年12月31日現在
譲渡可能有価証券					譲渡可能有価証券 (続き)
確定利付債券			運輸	760,000	0.48
通信	1,763,370	1.11	米国債	107,733,055	67.69
金融	8,098,358	5.09	公益事業	6,281,313	3.95
資本財、サービス	24,341,809	15.29	確定利付債券合計	150,512,451	94.57
非米国政府債	629,546	0.39	譲渡可能有価証券合計	150,512,451	94.57
不動産	905,000	0.57			
デリバティブ金融商品2024年					
為替予約					
満期日	購入金額	売却金額	カウンターパーティー	未実現利益 ／(損失) (米ドル)	純資産比率 (%)
ヘッジありクラスの為替予約					
2025年1月31日	日本円	1,627,413	米ドル	10,373	ステート・ストリート・バンク
2025年1月31日	日本円	3,153,115	米ドル	20,097	ステート・ストリート・バンク
2025年1月31日	米ドル	502	日本円	78,710	ステート・ストリート・バンク
2025年1月31日	米ドル	259	日本円	40,624	ステート・ストリート・バンク
				12	0.00
				23	0.00
				(1)	(0.00)
				—	(0.00)
為替予約に係る未実現利益					
為替予約に係る未実現損失					
為替予約合計					
				35	0.00
				(1)	(0.00)
				34	0.00
公正価値がプラスのデリバティブ金融商品合計 2024年					
公正価値がマイナスのデリバティブ金融商品合計 2024年					
デリバティブ金融商品合計2024年					
				35	35
				(1)	(1)
				34	34
純流動資産					
現金および担保 ¹					
その他の資産／(負債) 純額					
ファンドの純資産合計					
				159,151,327	100.00
	公正価値 (米ドル)			公正価値 (米ドル)	純資産比率 (%)

¹ すべての保有現金は、ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニーで保有されている。

DIA Mマネーマザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2025年4月7日）
 (計算期間 2024年4月6日～2025年4月7日)

DIA Mマネーマザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債券組入比率		新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産額
		期騰	中落率			
12期(2021年4月5日)	円 10,080	% △0.1	% 62.4	% —	% —	百万円 1,064
13期(2022年4月5日)	10,071	△0.1	76.3	—	—	1,192
14期(2023年4月5日)	10,063	△0.1	71.8	—	—	1,253
15期(2024年4月5日)	10,055	△0.1	62.0	—	—	483
16期(2025年4月7日)	10,065	0.1	81.1	—	—	3,881

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

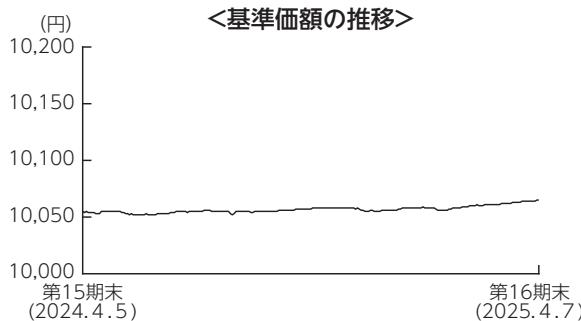
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債組入比率	新株予約権付 社債(転換社債) 組入比率	債先物比率
	騰 落 率	円	%	%	%
(期 首) 2024年 4月 5日	10,055	—	62.0	—	—
4 月 末	10,055	0.0	56.0	—	—
5 月 末	10,052	△0.0	79.1	—	—
6 月 末	10,055	0.0	82.7	—	—
7 月 末	10,053	△0.0	74.7	—	—
8 月 末	10,055	0.0	82.6	—	—
9 月 末	10,057	0.0	82.6	—	—
10 月 末	10,058	0.0	86.8	—	—
11 月 末	10,056	0.0	77.5	—	—
12 月 末	10,059	0.0	82.4	—	—
2025年 1 月 末	10,058	0.0	78.9	—	—
2 月 末	10,061	0.1	81.6	—	—
3 月 末	10,064	0.1	81.1	—	—
(期 末) 2025年 4月 7日	10,065	0.1	81.1	—	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年4月6日から2025年4月7日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,065円となり、前期末比で0.1%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。当期間は、保有債券からの利息収入などがプラスに影響し、前期末比で基準価額は上昇しました。

投資環境

国内短期金融市场では、3ヵ月物国庫短期証券利回りはゼロ近辺で始まりましたが、日銀が2024年7月、2025年1月に政策金利を引き上げたことから、同利回りは徐々に上昇しました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

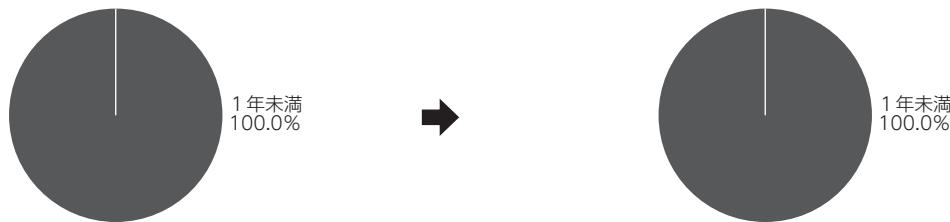
【運用状況】

※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）

当期末



今後の運用方針

日銀は2025年3月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、米国の関税政策の先行きなど、内外経済の不確実性が高い中では日銀は慎重に利上げを行うと見られ、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2024年4月6日から2025年4月7日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円	千円
国内	国債証券	11,312,467	3,666,456 (4,800,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年4月6日から2025年4月7日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当期					
区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 11,312	百万円 1,099	% 9.7	百万円 3,666	百万円 199	% 5.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円 3,150,000	千円 3,147,577	% 81.1	% —	% —	% —	% 81.1
合計	3,150,000	3,147,577	81.1	—	—	—	81.1

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)	%	千円	千円	
1261回 国庫短期証券	—	100,000	99,997	2025/04/10
1280回 国庫短期証券	—	300,000	299,979	2025/04/14
1283回 国庫短期証券	—	400,000	399,908	2025/04/28
1267回 国庫短期証券	—	400,000	399,844	2025/05/12
1289回 国庫短期証券	—	500,000	499,730	2025/05/26
1290回 国庫短期証券	—	400,000	399,752	2025/06/02
1238回 国庫短期証券	—	50,000	49,960	2025/06/20
1279回 国庫短期証券	—	300,000	299,715	2025/07/10
1244回 国庫短期証券	—	100,000	99,900	2025/07/22
1291回 国庫短期証券	—	400,000	399,372	2025/09/10
457回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	199,420	2026/02/01
合計	—	3,150,000	3,147,577	—

■投資信託財産の構成

2025年4月7日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
公社債	3,147,577	81.1
コール・ローン等、その他	734,394	18.9
投資信託財産総額	3,881,972	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)現在

項	目	当期末
(A) 資	産	3,881,972,229円
コ 一 ル 一 ノ ン 等	債(評価額)	734,359,151
公 社		3,147,577,500
未 収 利 息		21,880
前 払 費 用		13,698
(B) 負 債		—
(C) 純 資 産 総 額(A-B)		3,881,972,229
元 本		3,856,870,274
次 期 繰 越 損 益 金		25,101,955
(D) 受 益 権 総 口 数		3,856,870,274口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)		10,065円

(注1) 期首元本額 481,233,562円
 追加設定元本額 9,658,635,020円
 一部解約元本額 6,282,998,308円

One/ファイデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (成長型) 9,943,324円
 One/ファイデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (毎月決算・予想分配金提示型) 1,988,665円
 期末元本合計 3,856,870,274円

(注2) 期末における元本の内訳

バンクローン・ファンド (ヘッジなし) 15,843,407円
 バンクローン・ファンド (ヘッジあり) 13,867,169円
 バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型) 1,088,285円
 バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型) 98,095円
 新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号 11,377円
 新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号 98,027円
 新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号 989,197円
 新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号 395,083円
 新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号 494,102円
 新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号 494,102円
 ダブルライン・シラー・ケーブ米国株式プラス<為替ヘッジあり> 791,316円
 ダブルライン・シラー・ケーブ米国株式プラス<為替ヘッジなし> 2,474,972円
 One/フェルマット・CAT債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし) 4,968,204円
 One/ファイデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (毎月決算・予想分配金提示型) 9,939円
 ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり) 9,940円
 ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジあり) 9,940円
 ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし) 5,768,275円
 ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし) 2,884,138円
 クルーズコントロール 3,674,777,764円
 USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり) 993,740円
 USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし) 1,987,479円
 マシューズ・アジア株式ファンド 14,723,185円
 One世界分散セレクト (Aコース) 99,040円
 One世界分散セレクト (Bコース) 99,040円
 One世界分散セレクト (Cコース) 99,040円
 世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型) 99,109円
 モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり) 188,380円
 モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし) 109,063円
 モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり) 297,442円
 モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし) 118,977円
 ファンドスマス・グローバル・エクイティ・ファンド 99,255,584円
 PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジあり) 301,134円
 PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし) 1,493,740円

■損益の状況

当期 自2024年4月6日 至2025年4月7日

項目	当期
(A) 配当受取	等利息
(B) 有価証券売買	売買損益
(C) 当期損益	益金(A+B)
(D) 前期繰越損益	益金
(E) 解約差損益	益金
(F) 追加信託差損益	益金
(G) 合計(C+D+E+F)	益金(G)
次期繰越損益	益金(G)

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)